

新任のごあいさつ

1月1日付けで附属病院病理診断部助教授として赴任された大城先生のご挨拶です。

大城 久（おおしろ ひさし） 病理診断部准教授：病理診断部副部長

====ごあいさつ====

本年1月1日付で自治医科大学に准教授として着任いたしました。浅学菲才ながら、教育、研究、診療のより一層の充実、ならびに地域医療の発展のために全力を尽くす所存でございます。至らぬ点多々あるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

<略歴>

東京医科大学卒業
東京医科大学病院病理部 臨床研究医
横浜市立大学附属病院病理部 助教
The University of Texas
MD Anderson Cancer Center 博士研究員
東京医科大学人体病理学部門 准教授

退職のごあいさつ

3月31日付けで病理診断部を退職される鈴木司先生のご挨拶です。

====ごあいさつ====

このたび、3月31日付けで自治医科大学を退職することになりました。自治医科大学入職時には専門医取得、学位取得を目標にし、社会人大学院生として採用していただきました。

一年目には病理専門医、細胞診専門医を取得しました。研究では二年目にUSCAP(米国カナダ病理学会、米国、メリーランド州)にて発表を行いました。そして、主要論文(英文、原著論文)と学位論文を作成、投稿し、4年間で無事、学位を取得できました。

私は臨床医を6年間勤務後に病理に転向したので、研究や論文作成には不慣れなところがあり、研究はなかなか進みませんでした。しかしあたたかい職場と、大学院の学習環境ややりがいのある仕事に恵まれ、今思うと本当に皆様のご協力があったので成功と思えます。このような大学院と職場に巡り合えたことは、私にとって最高の幸せであったと感慨を新たにしております。

その一方で、病理診断や研究・教育など、まだまだやり残したことがあると思います。これからは、ここで教えていただいた5年間を忘れずに、今後も病理診断業務にひたすら勤しんで参りたいと思います。

多くの方々に本当にお世話になりました。今後、また何かの縁があれば幸いです。どこかでお会いした時には何卒よろしく申し上げます。



中学生職場見学

2月 日、南河内中学校の1年生が総合的学習(職場見学)のため、病理診断部を訪れました。後日届いたお礼状に「病理に興味を持ち、病理医になりたい。」と書いてくれた生徒さんがおり、感激しました。将来、是非とも病理医になっていただきたいです。

病理診断科副科長 大城 久 様

寒さ少しづつ緩みはじめました。
この度は、臨床病理部を見学させていただきました。
ありがとうございました。
大城久様にご案内いただいたことで印象に残った事は、
顕微鏡の使い方を教えていただいたこと、顕微鏡の構造、
プレパラートに乗せて色をつける作業を見て、すごく細かい
作業だと感じました。
もう一つ印象に残ったのは、顕微鏡で細胞を見た事です。
顕微鏡を覗きながら、大きい穴や小さい穴がたくさん
ある、びっくりしました。細胞を見たのは初めてだったので
貴重な体験になりました。
私は大城久様の話を聞いて、病理に興味を持ち、
病理医になりたいと思いました。そのために、苦学な
教科を勉強したいと思います。
2年生の職場体験でも、また希望したいと思うので、
よろしくお願ひします。

下野市立南河内中学校
1年



病理診断部 業務実績報告(2015年1月~12月)

◎組織診

受付件数	15,313件
作製ブロック数	72,733個
HE染色枚数	122,418枚
特殊染色枚数	26,879枚
術中迅速診断件数	884件
術中迅速診断ブロック作製個数	1,652個
センチネルリンパ節診断件数	227件
センチネルリンパ節診断ブロック作製個数	502個
未染スライド薄切枚数(実習用含む)	26,080枚

◎遺伝子検索

件数	10件
----	-----

◎細胞診

受付件数	18,772件
迅速件数	228件
総染色枚数	40,756枚

◎免疫組織化学(IHC)

IHC件数	2,623件
IHC染色枚数	13,343枚
ER or PR件数	533件
Her2件数	576件
FISH*件数	74件
EBER1*件数	98件

◎IHC:免疫組織化学

*FISH:蛍光 in situ ハイブリダイゼーション

*EBER1:EBウイルス関連リンパ腫、胃がんなどの確定診断のための検査

◎電子顕微鏡検査

件数	264件
うち さいたま医療センター	71件

◎蛍光抗体法

件数	215件
うち さいたま医療センター	71件

◎剖検(病理解剖)

件数	35件
うち院外剖検	4件

■平成27年において増加傾向を示したものは、組織診受付件数(15,313件)、術中迅速診断(884件)、細胞診(18,772件・微増)免疫組織化学(2,623件)でした。

■EBER1は保険適用されていないものの、近年増加傾向です。

■剖検(病理解剖)は、定期的な病院CPCの開催、学生講義、臨床実習(BSL)、研修施設・教育施設認定、医療事故調査制度(制度施行:平成27年10月1日)への協力など、多方面に大きく貢献しています。

検体受付および剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線 2257)

注)土・日・祝祭日は剖検のみ受付(内線 2257 or PHS 18218)